

終りに、この報告を作成するについては、Arnold Court, 齋藤鍊一両博士の所論に示唆されるところが多かつたことを特記し、感謝申しあげる。

参考文献

- 1) 岩井重久(1949): Slade 型分布の非対称性の吟味およびその 2, 3 の新解法. 土木学会論文集, 第 4 号, 84~104.
- 2) Ogawara, M. and Collaborators (1954): Stochastic Limits for Maximum possible Amount of Precipitation. Papers in Met. and Geophys., 5, 8~21.
- 3) 気象庁統計課(1954): 主として小河原氏の方法による日降水量の Return Period の計算法. 電力気象連絡会集報, 2 輯, 3, 217~239.
- 4) 正務章・草間宗三(1955): 松本の確率雨量について. 気象庁研究時報, 7, 277~282.
又は, 正務章・待井一男(1956): 本邦各地の無

降水継続日数の Return Period について. 気象庁研究時報, 8, 400~408.

- 5) 例えば, 気象庁統計課(1958): 日降水量の再現期間の推定法に関する調査. 気象庁測候時報, 25, 181~186.
- 6) Court, A.(1952): Some New Statistical Techniques in Geophysics. Advances in Geophysics, Academic Press Inc., New York, 1, 45~85.
- 7) Gumbel, E.J.(1955): The calculated Risk in Flood Control. Appl. Sci. Research, A, 5, 273~280.
- 8) 齋藤鍊一(1957): 暴風の確率限界値. 気象庁研究時報, 9, 529~532.
- 9) 正務章・新井貞義(1959): 中部日本における雨の降り方に関する統計的調査(2). 気象庁研究時報, 11, 623~634.
- 10) 正務章・新井貞義(1960): 中部日本における雨の降り方に関する統計的調査(3). 気象庁研究時報, 12, 402~415.

第 5 回 常任理事会 議事録

日時 昭和37年10月1日(月) 17.00~20.00
場所 神田学士会館
出席者 松本, 正野, 村上, 今井, 吉武, 神山, 有住, 岸保, 須田, 増田, 淵 各理事

(順序不同)

決議

1. 秋期大会に関し次のとおり実施する。
 - (1) 期日 12月5日(水), 6日(木), 7日(金)
 - (2) 場所 気象大学校 2階講堂及び教室
 - (3) 行事 12月5日 9h30~17h
12月6日 // 研究発表
// 18h 懇親会
12月7日 9h30~12h 研究発表
// 13h~17h シンポジウム
 - (4) 大会委員長 中野猿人
 - (5) シンポジウム(文部省総合研究班「防災科学」異常気象分科会と共催)
気象災害に関するシンポジウム
座長 齋藤 鍊一
一防災研究はどう進めたらよいか一
話題提供者
河川工学関係 高橋 裕(東大工)
建築工学関係 亀井 勇(東北大工)
海岸工学関係 鶴田 千里(港湾技研)
気象学関係 奥田 穰(気研台風)
 - (6) 予稿集(講演申込数 102)
オフセットで作成する。1人2頁以内,
締切10月末
 - (7) 大会座長
第1会場
5日午前(気候・総観気象) 長尾 隆

- 5日午後(汚染・乱流) 竹内 清秀
関川 俊男
- 6日午前(台風) 久米 庸孝
// 午後(力学・長期予報) 岸保勘三郎
窪田 正八
- 7日午前(降水統計・災害) 荒井 隆夫
- 第2会場
5日午前(陸海水・雲の観測) 石原 健二
// 午後(放射・高層) 沢田 龍吉
関原 疆
- 6日午前(氷晶核・人工降雨) 駒林 誠
// 午後(凝結核・霧・降水) 樋口 敬二
小林 禎作
- 7日午前(応用気象・気象電気) 神山 恵三
2. 明年度大会に関しては今井理事が研究会出席とともに現地と相談する。
3. 評議員に関しては次回に案を出して全国理事で投票してきめる。
4. 講演企画委員会の強化に関しては次回に案を出して討論する。
5. 日米科学委員会に関する説明会を開くこととし, 和達・坪井両氏に講師をお願いする。期日等の世話役は岸保, 松本, 増田, 神山4理事が当る。
6. 10月16日開かれる生物, 地質関係主催の日米科学委員会に関する討論会には上記4氏が出席する。
7. 朝日賞に関しては数値予報グループの協同研究を出す。
8. ノートの地区編集委員は支部推せん者および各管区の調査課長(支部のないところ, および推せんのない支部)をお願いする。